

年の瀬の大阪の街は、多彩なイルミネーションで光があふれています。振り返れば大変な大変な1年でした。今年の漢字は「絆」、苦しくても助け合っ
て前向きに生きようとする人の強さとぬくもりを感じます。
1年のご愛読ありがとうございました。現在会員登録数 753 人さま。次号は
新年1月20日発行の予定です／

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

- 【1】お知らせ
- 【2】コラム
 - 《1》 YO!この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk
 - 《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 16
 - 《3》 サイト紹介 -子どもの本をリサーチする-
 - 《4》 行って来ました!
- 【3】全国のイベント紹介
- 【4】プレゼント

■ 【1】お知らせ ■

● 東日本大震災で被災した子どもたちに本を贈る

『いっしょだよ』募金のお願い! 被災地の学校、幼稚園、保育所、地域
文庫などに子どもの本を購入して送ります。ご協力をお願いします。

- ◎ 募金は最寄りの郵便局から郵便振替による送金をお願いします。
- 口座番号: 00970 - 9 - 12891 加入者名: 毎日新聞大阪社会事業団
- ・通信欄に「子どもの本」と明記ください。
- ・お名前を毎日新聞に掲載させていただきます(匿名にもできます)
- ・税制上の優遇措置が受けられます。

* 本そのものの寄付は、受け付けておりません。ご了解ください。

主 催: 財団法人 大阪国際児童文学館 / 大阪府書店商業組合
毎日新聞社 / 毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団

詳細は → <http://www.iiclo.or.jp/>

● 寄付金を募集しています

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っ
ています。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に
充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いします。

お申込み、詳細は → <http://www.iiclo.or.jp/donation.html>

■ 【2】コラム ■

《1》 Y O ! この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

『盆まねき』 富安陽子/作 高橋和枝/絵 偕成社 2011年7月

あらすじ：小学校三年生のなっちゃんがママの実家の笛吹山に行って大勢の親戚と「盆まねき」を過ごす。その間におじいちゃんは人間の言葉がわかるなめくじの話を、おじいちゃんの姉のフミおばちゃんは月の中の田んぼを刈っておもちつきをしている話を、ひいおばあちゃんは子どもの頃にかっぱに出会った話をしてくれる。どの話にも戦争で亡くなったシュンスケおじさんが登場する。8月15日の盆踊りの夜、なっちゃんは子どもの姿のシュンスケおじさんに月の中の田んぼを見せてもらう。

O：最近の富安さんの作品をあまり読んでいなかったの、まとめて読み直しました。言葉に対するユーモアのセンスが抜群で大いに楽しみました。幼い子どもであっても超能力をもっていて天地を駆け巡って大活躍するなどのスケールの大きい「ほら話」のようなのも爽快でした。

Y：「ムジナ探偵局」（童心社）も「やまんばあさん」（理論社）も「菜の子先生」（福音館書店）も「シノダ!」（偕成社）も「内科・オバケ科ホオズキ医院」（ポプラ社）、どのシリーズも子どもたちに大人気です。

O：生きとし生きる者への信頼感が底に流れていて、作品全体を貫く明るさによって心地よく読むことができます。

Y：『盆まねき』はユーモアや人間関係の信頼を失うことなく、「死」が描かれたことによって作品にぐっと深みが増したと思いました。特攻隊員として亡くなったシュンスケおじさんの登場する不思議な話を、おじさんの弟、姉、母親が不思議な体験を織り交ぜながら語っていくという構成も巧みです。

O：クライマックスが盆踊りですね。盆踊りを先祖の「魂」との交流として描かれていました。富安さんの作品の不思議は、このように普通の日本人の心の歴史が根底にあるため、時間と空間の重層性を感じることができますね。

Y：それにしても月の中の田んぼの描写はとても美しく、今でも目に焼き付いています。吸い込まれそうになるなっちゃんの気持ちが伝わってきました。

O：四話の後に、「もうひとつの物語ーさいごにほんとうのお話をひとつー」として作者を思わせる「わたし」が特攻隊員として亡くなった俊助おじさんについて語っています。これを書くまでに、長い時間が必要だったでしょう。

Y：なっちゃんの物語の中にこの事実を入れ込む、「あとがき」として書くなどの方法をとらず、あえて、新しい章を起こしたところに富安さんの強い意図を感じます。戦争当時の状況を直接的に描くのではなく、戦争というテーマを扱った児童文学作品として新しい手法だと思いました。

《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 16

「その5 絵本の選び方(10) 絵本を評価する：ジャンル b. 空想的な絵本」

空想的な絵本は、読者を異なる世界に誘い、心を遊ばせます。絵本の中で「あったらいいな」ということを実現させたり、「あったら怖いな」ということを見ることで自分の思いを客観的に見つめたり、現実との差異を読み取ることで、現実の社会や人や自分自身について認識したりします。

それゆえ、空想世界のことだから、何が描かれていてもいいのではなく、空想世界だからこそ、設定がしっかりしていて、ルールが一定であることが重要です。

例えば、『かようびのよる』（デヴィッド・ウィーズナー/作 当麻ゆか/訳 徳間書店）のように徹底的なりアリズムの手法で描きながら夜中にカエルの大群が出現するという現実とは異なることがらを描く方法もありますし、『つきのぼうや』（イブ・スパンク・オルセン/作・絵 やまのうちきよこ/訳 福音館書店）のように、つきのぼうやが月の友だちを連れてくる過程について必要なことだけを描くという省略と焦点化をする手法もあります。いずれにせよ、空想の世界を絵という具体的に目に見える形にするからこそ、読者が信じられるように描かれているということが大切です。

そして、空想の世界が絵本の中で完結してしまうのではなく、絵本を飛び出して読者の空想世界を広げるような作品が望まれます。つまり、その絵本によって、読者は想像力を働かせる引き出しを増やすことができるかということ进行を問う必要があります。

空想的な心の遊びを楽しむということを絵本全体で表現しようとする、絵にも言葉にも遊び心が要求されます。そして、例えば『かようびのよる』のように、言葉で書かれていることと、絵で描かれていることのギャップが大きいと、読者の想像力を刺激することになり、読者は空想世界を受け入れやすくなります。

逆に、つまらない空想的な絵本は、魔女やおばけなど、空想的な登場人物が出てくるだけで、それらの人物の文化的な背景が感じられなかったり、人間ではないことの必然性が読めなかったりします。また、奇異な世界が描かれて読者へのインパクトは強くても、現実とのつながりが見えてこなかったり、空想世界の中でのルールが一定でなく、つじつまが合わなかったりします。

*次号では「その5 絵本の選び方(10) 絵本を評価する：ジャンルc. 日常を描いた絵本」の予定です。質問や意見をいただきましたら、お答えしていきたいと思います。(Y)

《3》 サイト紹介 ー子どもの本をリサーチするー

資料所在データベース 16 回目。今回は番外編として、次のサイトをご紹介

します。

●本の海大冒険（財団法人 大阪国際児童文学館）

<http://www.justice.co.jp/iiclo/>

これまでにご紹介してきたサイトはすべて大人向きですが、今回は子ども向きです。通常、本を探す場合、私たちは書名や著者名、思いついたことばの一部を入力します。

しかし、子どもたちは、大人とは異なる志向で本を探すことが多いもの。何を讀もうかな、おもしろい本はないかなと思っている子どもにとって、従来の検索方法では十分な本探しに難しいのでは？という問題意識が、このサイトが作られた発端です。

そのため、ことばなどを思い浮かべて入力する従来の方式ではなく、画面上の絵文字やさまざまなアイテムを選択していきます。「あそんでさがす」というメニューがそれですが、潜水艦に乗り込んでこれから本探しに出かけるという設定。例えば〈タイムカプセル〉では各時代〈恐竜・さむらい・近代・未来〉へ行けるスライドバーが用意されており、〈恐竜〉を選ぶとその時代の本がまず絞り込まれます。さらに、クイズがいくつか出題され、答によってその子の志向を探り、お薦めの本を紹介するという仕組みです。

その他、〈世界地図〉（ヨーロッパやアメリカなど）や〈もしもしカプセル〉（魔女やおばけなど）、〈変身マント〉（お母さんや先生など）等々、ユニークなアイテムがいっぱい。絵本作家・佐々木マキさんのキャラクターを使い、選ぶ楽しさ満載です。子ども向きのサイトですが、大人が遊んでも十分おもしろい。ぜひ一度、お試しください。（J）

※次号は、資料所在データベース篇〈その17〉の予定です。

《4》 行って来ました！

京都国立近代美術館で開催されている、「川西英コレクション収蔵記念展 夢二とともに」に行ってきました。

版画家の川西英が生涯にわたって集めた夢二の作品や、夢二の手紙などが展示されています。英はよほど夢二に惹かれたのでしょう。夢二のコマ絵を真似て描いたり、雑誌や画集、千代紙や便箋、手拭いなど、さまざまな夢二グッズを集めたりするのですが、男性ゆえ買い求めるのに苦労したことが語られています。

夢二といえば、ほっそりした着物姿の女性の絵が思い浮かびますが、風景画もあり、本のさし絵も多く手がけ、子ども向けの本も作っていました。初公開の掛軸で、冬枯れの木の下でほうきをもった男性の絵は、晩年の夢二自身ではないかとの解説があり、興味が深まります。

そして、『セノオ楽譜』シリーズを見ている時、あっと驚きました。「No. 159 花をたづねて」は、私が子どもの頃、父の古い手帳に書かれていた忘れられない詩だったのです。夢二の作詞だったことを知り、なんだか懐かしくすご

くうれしくなりました。

英はサーカスを題材にした作品をたくさん残していますが、夢二にもサーカスの女性を描いたものがあり、やはり影響を感じます。また、英が作品交換をして集めたという同時代の作家たち、恩地考四郎、武井武雄、田河水泡など国際児童文学館の所蔵資料にもなじみの深い方々の作品も展示されていました。見ごたえのある展覧会でした。(K)

【3】全国のイベント紹介

●展覧会 少女漫画の世界 原画' (ダッシュ) 10年の軌跡
会 場：京都国際マンガミュージアム
期 間：開催中 ～ 2012年1月29日(日)
内 容：原画' (ダッシュ) 作品 約80点/その他、雑誌など数点
出展作家：松本かつぢ、上田としこ、わたなべまさこ、今村洋子、高橋真琴、
巴里夫、水野英子、牧美也子、あすなひろし、北島洋子、
上原きみ子、佐藤史生、花郁悠紀子、竹宮恵子(計14名)

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

【4】プレゼント

今号のコラム《1》「YO!この本読んだ?」で紹介しました『盆まねき』を1名の方にプレゼントします。

ご希望の方は、メールで 件名「IICLO MAGAZINE NO.16プレゼント希望」とし、
(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス (5)このメルマガのご感想 をお書きのうえ office@iiclo.or.jp にお送りください。
締切は1月10日(火)、当選発表は発送をもって代えさせていただきます／

編 | 集 | 長 | の | つ | ぶ | や | き |

小市民のささやかな喜び — 先週、誕生日の家飲みで、エビスビールの瓶ラベル、鯛が2匹(ふつう1匹)だった。数百本に1本?と言われる“ラッキーエビス”。おめでタイ… 来年は、皆様にとってきっと良い年になりますように。(A)

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。下記メールアドレスまでお願いします。原則として返信はいたしませんのでご了承ください。

●このメールマガジンは、ご登録いただきました皆様に配信しています。

●配信の登録・解除・変更は、

http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/index.html パソコンからどうぞ

- このメールの送信アドレスは配信専用です。
- 記事の無断転載はご遠慮ください。

発行：財団法人 大阪国際児童文学館 <http://www.iiclo.or.jp/>
〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内
TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582 E-mail：office@iiclo.or.jp
